

佐賀県ユニセフ協会設立 20周年

記念式典

菊川 怜トークライブ

と き 2014年9月27日(土)
14:30～(14:00開場)

ところ マリトピア

主 催 佐賀県ユニセフ協会設立20周年
記念事業実行委員会



後 援 / 佐賀県・佐賀市・佐賀県教育委員会・佐賀市教育委員会・佐賀新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社・
読売新聞西部本社・毎日新聞社・NHK佐賀放送局・STSサガテレビ・エフエム佐賀・NBCラジオ佐賀

式次第

オープニングイベント

- ・ユニセフと地球のともだち (DVD上映)
- ・子どもよさこい ～佐賀から世界のともだちへ～

すまいる
空舞流

SUGA IZANAI KYUSHU レインボーチルドレン

一. 記念式典

- ・挨拶 佐賀県ユニセフ協会 会長 中尾 清一郎
(公財)日本ユニセフ協会 団体・組織事業部長 千寿 満城
- ・来賓祝辞 佐賀県市長会会長 多久市長 横尾 俊彦
- ・来賓紹介
- ・表彰者の紹介
- ・感謝状贈呈
- ・表彰者代表の挨拶 表彰者代表
トヨタ紡織九州株式会社 代表取締役社長 宮田 徹
- ・20年のあゆみ (DVD上映)

二. キャスター・菊川怜 トークライブ ～世界の子ども笑顔のために～

菊川 怜



profile

- 本名 …… 菊川 怜 (きくかわ れい)
- 学歴 …… 東京大学工学部建築学科卒業
- 趣味 …… 映画鑑賞
- スポーツ …… テニス・水泳
- 特技 …… 計算

2004年11月～2009年12月

UNHCR (国連難民高等弁務官)
スペシャルサポーター 就任

2006年 6月

日本ボツワナダイヤモンド親善大使 就任

2007年 3月

日本・モンゴル国交35周年記念
モンゴル親善大使 就任

2012年 6月

チャド共和国でのユニセフ活動の現場を訪問

'99東レキャンペーンガールからテレビ・映画・舞台などで幅広く活躍。2012年7月より情報番組「とくダネ!」キャスターとして出演中。

佐賀県ユニセフ協会20周年にあたって

佐賀県ユニセフ協会 会長 中尾 清一郎



一般に、国際連合は世界で最も権威ある国際組織だと位置づけられています。日本でも国連での決まり事や勧告は世界各国の共通認識、と受け止められています。しかし、国連は第2次世界大戦の連合軍、戦勝国の論理で結成され、いまだに常任理事国には拒否権があり、侵略行為のような社会正義に反することでも拒否権が行使されてきました。ただ、それも冷戦が終わり、東西陣営が融和していけば世界の紛争や貧困は徐々に解消されていくものと期待されました。

2014年のいま、世界は平穏でしょうか。核戦争や国家間の交戦の可能性は低くなりましたが地域紛争、宗教・民族対立は激化の一途です。いまほど国連の存在意義が問われている時はありません。その中であって、国連児童基金(ユニセフ)は、宗教や文化の枠組みを超えて、ひたすら子どもたちのために、という誰もが共感できる目的を追求する活動を行っています。そこには民族や国家間の利害の入り込む余地があってはなりません。ユニセフ活動は人類の善意の結晶です。

私たちは日本という豊かな国に住んでいますが、戦後しばらくはユニセフの支援を受けたこと、東日本大震災に際しては改めて被災地にユニセフの手が差し伸べられたことを忘れてはなりません。誰も日々の生活にちょっとした不満や将来への不安はつきものです。しかし、世界には常に生命の危機にさらされ、雨露をしのぐことさえできない子どもたちが大勢います。私たちはユニセフ活動を通し、自分たちの幸せを実感し、少しでも弱い立場の人々への支援に目覚めるのです。

20年間にわたる佐賀県ユニセフ活動への様々なご協力に深く感謝申し上げます。

ご挨拶

(公財)日本ユニセフ協会 会長 赤松 良子



佐賀県ユニセフ協会が設立20周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。長年に亘り、佐賀県において世界の子どもたちのためにユニセフの活動を支援下さいました貴会の皆様に感謝申し上げます。また佐賀県ユニセフ協会を支えてくださっておられる皆様、そして設立20周年を迎えるにあたりご尽力賜りました関係者の皆様に心からの敬意を表します。

1994年、ボランティアの有志の皆様で日本ユニセフ協会佐賀友の会を立ちあげられてから、地元根付いた地道な活動をすすめられ、2004年には日本ユニセフ協会佐賀県支部となりました。学校への出前授業、ガタリンピック、有田陶器市でのユニセフ広報、募金活動など佐賀県全域で活発な活動をされています。2011年4月、日本ユニセフ協会の公益財団化に伴い、「佐賀県ユニセフ協会」と名称変更後もより一層意欲的に活動していただき、2014年からはインドの女子教育のための指定募金にも取り組んでいただいておりますことは大変頼もしい限りです。

ユニセフにとりまして、今年が日本が「子どもの権利条約」を批准して20年目の節目となります。皆様の継続的なご支援に支えられ、世界の子どもたちを取り巻く状況は年々改善されております。ユニセフは2013年9月に、5歳未満児の年間死亡数が660万人まで減少したことを発表しました。1990年に1260万人であったのが、ほぼ半減したことになります。1990年と比べて、毎日14,000人の幼い命が守られていることになります。

ミレニアム開発目標達成の期限が迫ってきており、いくつかの目標は達成が困難と言われますが、ユニセフはもっとも困難な状況にある子どもたちに確実に支援を届けられるよう、「公平性戦略」にもとづいて活動を行ってまいります。

どうぞこれからも、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴会の益々のご発展と会員の皆様のご多幸、ご健勝を祈念申し上げます。



佐賀県ユニセフ協会創立20周年まことにおめでとうございます。

私の手元にはいつもユニセフマークの入ったはがきやグリーティングカードがあります。そしてもちろん、ユニセフのアドレスシールも。

これを使うたびに少しでも世界の子どもたちの笑顔が増えていくことに協力できているような気がしてほんの少しですが心が軽くなります。

わが国においても、ユニセフが中心になって子どもに関する様々な課題解決に向けて取り組みがなされてきているところですが、近年、たとえば子どもの貧困問題などは解決に近づく、というよりはむしろ拡大していると言わざるを得ません。子どもたちの命や権利、そして未来を社会全体で守っていこうという社会的養護についても、やっとこの問題が意識されてきつつある、という段階です。

佐賀県ユニセフ協会は内外の多様な課題を意識しつつも、地域に根差した活動をこれまで、粘り強く、幅広く、きめ細やかに、実施してこられました。本当に頭の下がる思いです。

私たち佐賀県は、世界の一員であることを意識し、世界とともに協力し、発展していくという考え方に立つ、ということを宣言しています。そしてそのためには世界における様々な問題にも目を向けていく必要があると思っています。そのときに佐賀県ユニセフ協会と一緒にできることもいろいろ出てくるように思います。

また、佐賀県庁には、青年海外協力隊などを通して国際感覚を培われた方のみが受験できるJICAボランティア等経験者枠があります。こういう制度ができている県は九州ではほかになく、全国でもほとんどありません。このように世界の問題、とくに世界の子どもたちのことを知っている人間を仲間として迎え入れています。こうしたことも広い意味で佐賀県ユニセフ協会の皆様の支援につながっているのではないかと考えているところです。

これから5年後、そして10年後がユニセフの目指す世界に一步でも近づくことを期待して、20周年のご挨拶とさせていただきます。

祝 辞

佐賀市長 秀島 敏行



この度、佐賀県ユニセフ協会が、設立20周年の節目を迎えられましたことに対し心からお祝い申し上げます。

また、1994年に「わが子への愛を世界の子どもたちにも」という熱い思いをもって設立されて以来、世界の子どもたちが直面している現状や、子どもたちの生命、健康、権利の保護といった多方面にわたるユニセフ活動について精力的に広報、啓発等の活動を行ってこられましたことに対して厚く敬意を表します。

さて、佐賀市では、市民総参加の運動として「子どもへのまなざし運動」を推進しております。

この運動は、子どもの健やかな成長はすべての大人の願いであり、子どもが健やかに成長していく過程で多くの他者、とりわけ大人とのかかわりが重要であるということから、すべての大人が子どもの育成に関心を持ち、主体的に関わる社会「子どもへのまなざし“100%”のまち」の実現を目指しております。

また、子どもたちには、地域社会の一員として社会をより良くしようと主体的に行動する「市民性」が芽生えることを期待しております。

私たち大人だけではなく、まなざしを受けて健全に成長している子どもたちがユニセフや貴協会の取り組みを知ることにより、平和や健康の大切さを理解し、苦難な状況にある子どもたちの苦しみや痛みを感じ、自分たちにできることは何かを考え、主体的に行動してくれるとすれば、将来にわたって世界の平和が進展していくものと信じます。

最後になりましたが、これからも世界中の子どもたちの幸せのためにご貢献賜りますとともに、益々のご発展とご活躍を心からお祈り申し上げます。

表彰団体のご紹介

長きに亘るご支援 ありがとうございます

(団体様のみのご紹介とさせていただきます：敬称略、五十音順)

支援団体名	ご支援いただいた内容
医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院	事務所施設・募金協力等で全面的なご支援をいただきました。
学校法人 佐賀清和学園 佐賀清和中学校・佐賀清和高等学校	清和中学校・清和高等学校においてユニセフ理解のための取り組みをし、ボランティア協力・募金協力をいただきました。
株式会社佐賀新聞社	新聞を通してのユニセフ普及にご協力いただきました。2010年8月より1年間、紙上でユニセフの広告を無償提供いただきました。
株式会社佐賀玉屋	佐賀玉屋デパートに於いてユニセフカードの取り扱いをし、カードによるユニセフ協力にご尽力いただきました。
コープさが生活協同組合	コープさが指定募金ネパール・東ティモール募金にご協力いただきました。2013年には「福島の子ども保養プロジェクト」を実施していただきました。
国際ソロプチミスト佐賀西部	会員の皆さんによるユニセフバザー一品のご提供をいただきました。「ユニセフ担当」部を設け、募金協力、ユニセフ講座等の開催をしていただきました。
佐賀県家庭クラブ連盟	佐賀県下の高等学校家庭科教師を中心に、使用済み切手・書き損じハガキによるユニセフ協力に取り組み生徒への広報にご協力いただきました。
佐賀県上峰町立上峰小学校	三養基郡上峰町におけるハンドインハンド協力、児童会のユニセフ協力活動をいただきました。
佐賀県佐賀市立城北中学校	人権委員会を中心に「ユニセフを知る・考える・行動する」をキーワードに、街頭募金活動やTV出演による広報活動にご協力いただきました。
JA佐賀県女性組織協議会	国際児童年を契機に子どもたちのための募金活動に取り組んだ「愛の募金」として、毎年ユニセフにご協力いただきました。
浄土真宗本願寺派佐賀教区少年連盟	12月24日・25日に行われる「ウインタースクール」の一環として、ユニセフ街頭募金に取り組みご協力いただきました。
トヨタ紡織九州株式会社	社会貢献活動の一環として社内に「端数募金」を呼びかけユニセフにご協力いただきました。ハンドボール部「レッドトルネード」は、日本ハンドボールリーグ戦の後にサポーターに呼びかけての募金活動に取り組んでいただきました。
日本ボーイスカウ佐賀県連盟	鹿島市ガタリンピック会場・ハンドインハンド会場、有田陶器市会場、佐賀市ハンドインハンド会場などでの募金活動に積極的に取り組んでいただきました。
福岡県柳川市立矢ヶ部小学校	ユニセフ出前授業の継続によるユニセフ理解の促進と、ハンドインハンドでは柳川市よりバスを貸し切ったの児童・生徒・保護者・教職員の皆さまによる募金活動のご協力をいただきました。
リコージャパン株式会社佐賀支社	ユニセフバザーに際して会社を挙げて社員の皆さまに物品提供を呼びかけ、チャリティーバザーにご協力いただきました。

私たちはユニセフを応援しています

(敬称略、五十音順)

● アーバントリー法律事務所	● 社会福祉法人佐賀整肢学園
● 医療法人智仁会佐賀リハビリテーション病院	● 税理士法人諸井会計
● 株式会社九電工佐賀支店	● 大同生命保険株式会社
● 株式会社佐賀印刷社	● 太陽塗装
● 株式会社佐賀銀行	● 団野法律事務所
● 株式会社佐賀広告センター	● 智博会
● 株式会社佐賀新聞サービス	● 日清医療食品株式会社福岡支店
● 株式会社佐賀新聞社	● 服部電機サービス
● 株式会社佐賀タクシー	● 美容室 New モア
● 株式会社電興社	● 母乳ケア For smile
● 株式会社マベック	● 松尾建設株式会社
● 株式会社ライフデザイン	● 峰公認会計士事務所
● 栗原内科消化器科医院	● リコージャパン株式会社
● 最所法律事務所	● 城谷麻衣子
● 佐賀ガス株式会社	● 吉原喜美子
● 佐賀ギター音楽院	● 吉原麻里

ご協賛ありがとうございました

unicef 